



ニュース城里



常北中サッカー部

常北中サッカー部が全国大会出場！

常北中学校（飯村治校長）のサッカー部が見事、8月19日から24日にかけて愛知県で開催された全国大会へ出場しました。常北中サッカー部は、地区予選の県中央大会で第2位、県大会で優勝し、207校中の頂点に立ちました。町をあげての激励会をうけて臨ん



全国大会開会式

だ関東大会（栃木県総合運動公園サッカー場）は、準決勝まで進み大健闘の第3位。全国大会では、20日、滋賀県甲賀市立甲南中学校と対戦し、0対4の結果となりました。日々の練習成果と持ち前のチームワークのよさで快進撃を続け、東茨城郡下でも初めての全国大会出場という大きな快挙を成し遂げた常北中。全国大会での初勝利はなりませんでしたが、のびのびと精一杯の力を出し切ってプレーした部員たちはみな笑顔でした。



励励会



熱の入った応援

常北中の成績

- 県大会決勝
常北 2-0 下館北
- 関東大会一回戦
常北 1-1 真岡 (栃木)
PK 5-4
- 二回戦
常北 1-0 神代 (東京)
- 準決勝
常北 0-2 与野東 (埼玉)
- 全国大会
常北 0-4 甲南 (滋賀)

全国大会に出場して

3年 森田康生
私達サッカー部は、多くの方々のご指導ご声援のおかげで、憧れだった関東大会にも出場し、さらには夢だった全国大会に出場することができました。今までは、なかなか良い結果が出せなかったけれど、どんな時でも、楽しくサッカーを続けてきたことが、今回の成果につながったと思います。全国大会では、持ち前のチームワークを発揮し、全力を尽くして頑張りました。地域の皆さんの励ましに感謝しています。

ゆとりある 心を乗せて

走ろうよ

夏の交通事故防止県民運動（7月20日から8月20日まで）の一環として、8月1日、物産センター山桜で交通安全街頭キャンペーンが実施されました。

笠間警察署員や笠間地区交通安全協会、交通安全母の会、金長町長をはじめ町職員等が参加。通過するドライバーひとり一人に、うちわや夜間に反射する蛍光バンドを配布して、「子供と高齢者の交通事故防止」「青少年運転者の交通事故防止」「飲酒運転、速度超過など無謀運転の追放」「シートベルトとチャイルドシート」の正しい着用を徹底を呼びかけました。皆さんも安全運転を心がけましょう！



ドライバーに安全運転を呼びかける金長町長



第20回記念常北杯少年軟式野球大会

第20回記念常北杯少年軟式野球大会が、7月30日に常北野球場、七会中など6会場で行われました。近隣市町村から28チームが参加。

当日は猛暑の中でしたが、各会場で野球少年たちの熱い戦いが繰り広げられました。



選手宣誓する大曾根涼くん

- 優勝 水戸市常澄野球スポーツ少年団(水戸市)
 準優勝 上中妻ニューフレンズ(水戸市)
 第3位 河原子野球スポーツ少年団(日立市)
 第5位 石塚ビックス 第9位 七会フェニックス
 第13位 桂コンドルズ 第19位 青山ウィングス

社会を明るくする運動

「第55回社会を明るくする運動」の街頭啓発キャンペーンが、7月22日には石塚駅前通りで、24日には桂道の駅と物産センター山桜で行われました。



この運動は、犯罪防止と罪を犯した人の更生について多くの人に理解してもらおうことを目的に毎年強調月間の7月に実施される、法務省主唱の全国的な運動です。街頭キャンペーンでは、保護司会や更生保護女性会の皆さん、学校や町関係者などが啓発品を手渡し、運動への理解を呼びかけました。



地球を守ろう！

待機時消費電力って

知っていましたか？

沢山小学校5年生の高島大直くん、立松世也くん、萩谷勇一郎くんが、8月9日に役場を訪れました。3人は、夏休みの自由研究で「地球温暖化」について調べ、電気を減らすことが地球温暖化防止につながることを知り、身近にある携帯電話の充電器の「待機時消費電力」に注目。

待機時消費電力とは、使っていない電化製品をコンセントにつないでいるだけで消費する電力のことです。携帯電話の充電が完了しても、そのままにしておくで電力を消費しています。例えば携帯電話を取り外していても、充電器のアダプターをコンセントに接続しておけば電力を消費してしまいます。この消費電力を二酸化炭素に置き換えると年間では大変な量になるそうです。身近にある携帯電話の待機時消費電力を抑えることが、二酸化炭素の排出量を減らし、地球温暖化の防止にもつながります。

高島くん、立松くん、萩谷くんは「地球温暖化を防ぐために僕たちにもできること。みんなも携帯電話の充電が終わったらコンセントを抜いて欲しい」と訴えました。

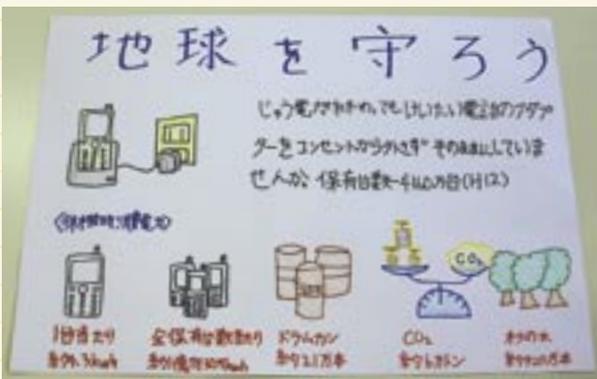


▲写真左から萩谷くん、高島くん、立松くん

待機時消費電力

待機時消費電力とは、その電化製品を使用していないときにも、モニター表示やメモリーの維持、リモコンによる赤外線待機等のために、常時消費されるスタンバイ電力を言います。

微量であるとはいえ、家庭一世帯当たりの全消費電力量の約1割が待機時消費電力で消費されているといわれています。携帯電話の充電器の他にも、例えば、外出時や就寝時にはテレビの主電源を切る、オフシーズンのエアコンなど使用していない製品はプラグをコンセントから抜く、パソコンのスクリーンセーバー状態は約15%の節電にしかならないので長時間使用しない時は電源を切る、といったことで不必要な電力消費を抑えることができます。



▲仮に携帯電話の充電を3日に一度1時間半行い、普段はアダプターをコンセントから外さなかった場合、年間の待機時消費電力は……